

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

難波元町小

学校

児童数

52

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.68	17.45	29.59	32.76	39.06	9.90	147.34	18.38	45.89
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.67	15.83	32.82	29.00	24.53	10.41	137.83	12.00	45.59
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子・女子ともにすべての種目において、全国平均、および大阪市平均を下回っていた。男女とも大阪市平均を3ポイント以上下回っていたのは長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルランであった。体力合計点は男女とも大阪市平均を下回った。児童質問紙への回答を見ると「運動やスポーツは好き・やや好き」と回答したのは男子96%女子72%だった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子で16.2%、女子で17.6%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

ここ数年、立ち幅跳びの平均が大阪市平均に比べ、3ポイント以上下回っていたが、わずかな改善傾向がみられた。しかし、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男女ともに16%を超えており、総運動時間の低下が懸念される。運動できる遊び場が少ないこと、熱中症対策やコロナ・インフルエンザ等感染症回避のために様々な活動の制限を受けてきた児童に対して、学校でできる運動量の確保の工夫が必要である。